



木阪賞文堂 6月の注目商品はコレです!

挟んで使えるテープのり、コクヨ“ドットライナーホールド”

挟んで使う機能実現

コクヨドットライナーホールド

コクヨ株式会社は、用紙の大部分が封筒の口貼りドットパターンテープのり「ドットライナー」の第三弾として、手に持ったまま貼ってのり付けができる「ドットライナーホールド」を六月十二日から発売する。

「ドットライナーホールド」は、手に持った状態で紙を挟み、スライドさせることによって周囲を汚すことなく簡単にのり付け作業が行えます。ドットパターン状のりならではの「のり切れの良さ」が魅力です。



買ってのり付けできるドットライナー

オフィスにおけるのりの用途の大部分は、封筒の口貼りに使用されています。従来の液体のりやスティックのりだと“封筒がしわになってしまう”“すぐに付かない”“周囲が汚れる”“端に綺麗に塗りたい”といった声が沢山聞かれました。このコクヨのドットライナーホールドは所謂テープのりです。手に持った状態で紙を挟み、スライドさせることによって周囲を汚すことなく簡単にのり付け作業が行えます。ドットパターン状のりならではの「のり切れの良さ」が

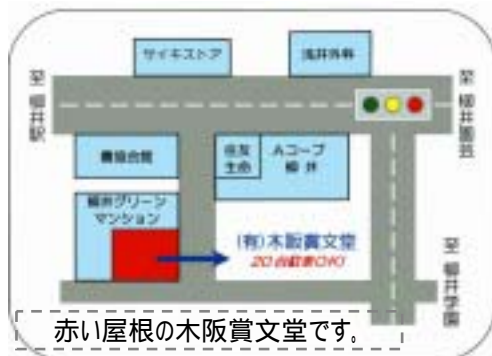
魅力です。これで毎月の請求書の封筒の口貼り作業の負担が軽減されそうです。テープは詰替式なので本体を何度も再利用出来ます。テープ幅は8.4mm、長さは13cm。価格は本体が¥525、詰替用テープは¥294です。市場には6月12日の発売予定です。どうぞお楽しみに!

～社長の独り言～

それは突然始まりました。No-テレビデ-の実践です。その日の朝、子供達は**何故か**文句は一言も無し!...でしたがかなり面食らった様です。最初の1週間は**ラジオだけの生活**でした。その内彼等は仕方なく(?)新聞を見る(読むまではいってません)様になりました。今は朝と夜の決めた時間内だけの視聴で過ごしています。或る朝のNHKラジオで、**モーツァルト音楽の効用**を説いていました。仕事の効率が上がったり、ミスが7割減ったり...という内容でした。早速CDを購入。今度は店内にも流してみようかなと思っています。No-テレビデーのお陰で(?)少し得した気分であります。(木阪泰之:記)



そうだ!賞文堂!行こう!



Aコープ柳井さん近く、柳井グリーンマンション前。
JR柳井駅より450m。車で70秒。
市内だから歩いて行ける、市内なのに車で行ける。20台駐車OK!

・会社名 (有)木阪賞文堂

・スタッフ人数 8名(中央店6名、白壁店2名)

・モットー 『当社の商品・サービスを通じて お客様を幸せにすること!』

・会社の場所 〒742-0035 山口県柳井中央3-9-2 (柳井グリーンマンション前)

・連絡先 TEL0820-22-0150 FAX0820-22-9506

Eメール shobundo@plum.ocn.ne.jp

・備考 “筆記具ベスト5(MDS関西支店調べ)”

上記表の が特にオススメです。

パイロットのハイテックCコレトは一度使うと手放せません。

筆記具BEST5

- ↑ハイテックCコレト (B)300円(パイロット)
- ↑エナージェル (B)200円(ぺんてる)
- ↑スパークリング (B)120円(三菱鉛筆)
- ↑アベットワン (C)300円(パイロット)
- ↑ハンドフィットアクア (B)500円(ゼブラ)

注: B=ボールペン、C=ボールペン/マーカー/ボールペン類
◆MDS関西支店調べ◆

* 木阪賞文堂のいどばた辞典は再生紙を使用しています。



おかげさまで完成・感性・歓声・喚声・カンセイ致しました・
賞文堂のホームページでございます。

<http://www.sirakabe.com> しらかべ・どっとこむ

やっと立ち上げることができました。実はホームページ(以下HP)のドメイン(HP上の屋号: [sirakabe.com](http://www.sirakabe.com) しらかべ・どっとこむ)は5年前に取得しました。当時、商議所青年部の定例会での大阪の傘屋の社長さんの講演がきっかけです。傘屋の和ちゃんこと、大阪心斎橋の老舗の傘屋の宮武和広氏は廃業寸前でインターネットに活路を見出し、全精力を注ぎ見事に復活 成功され、今では全国を飛び廻っていらっしゃいます。当店も一時期社長の独学でHPを開設しましたが、“これ”という方向性も持たず、何でもかんでもやりまっせと無理をした為か、更新をすることが困難となりそのままゴーストショップへ化しておりました。当時と比べると時代も次のステージに移っていますので、HPを立ち上げるといことは全く珍しいことではなくなりました。本来HPは全国にその情報を発信し、ビジネスに活かせる事が大きな魅力だと思いますが、木阪賞

文堂はあくまで柳井市並びに近隣町を中心とした地元の皆さんに、もっとお店のことを知って頂きたいという思いで今回のリニューアルに漕ぎ着けました。立派な文具屋さんには全国に沢山ありますが、木阪賞文堂は、職場や日々の生活で皆様が『お願いしてよかったよ』と感じて頂ける様な“つくれる(“作れる”“造れる”“創れる”)文具屋さん”を目指しています。今度はあまり無理をせず、週に1~2回程度の更新の中で地元の皆様により情報を提供できたらいいなと思っています。このいどばた辞典も毎号バックナンバーとして掲載して参ります。よかったらこのHPをお気に入りに登録しておいて下さいね。(木阪美・記)

今回のHPの製作は、ベンチャーワークス(有)さんに協力をお願いしました。HP立ち上げに関心の有る方はお気軽にご相談下さい。ご紹介いたします。

* 木阪賞文堂のいどばた辞典は再生紙を使用しています。